

TRUST SUPER TUNING SYSTEM AIMING AT REAL COMPETITIONS.

60ø WARNING METER

TRUST

株式会社トラスト 〒289-16 千葉県山武郡芝山町大台3155番5 TEL.0479(77)3000

第2版 平成9年6月印刷

TRUST CO.,LTD.

MADE IN JAPAN.

Reddy

FUEL PRESSURE METER

取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、理解された上で、正しくお使い下さい。

TRUST

はじめに

この度は、グレッディ・ワーニングフューエルプレッシャーメーターをお買い上げくださり誠にありがとうございます。

本製品は、車両の燃料ライン内圧力の状態を確認する為のメーターです。

この取扱説明書は、ワーニングフューエルプレッシャーメーターを初めてお使い頂く方はもちろん、すでにお使いになられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再認識する上でお役に立つものと考えております。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にお使い下さいますようお願い申し上げます。

又、この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に保管されることをお勧め致します。

◆お客様と製品とのかかわり合い◆ **必ずお読み下さい**

車とその取り扱い方法は、各自動車メーカーの、お客様に対しての安全と快適な生活に関する、不断の研究開発の結果として生み出されたものです。

弊社の製品は、このような車に、更なる性能や利便性を付加することが出来ると考えております。

弊社も又、お客様に製品を安全にかつ快適にお使い頂く為に、不断の努力をしておりますが、製品の持つ特性上、その性能や利便性と引き換えに、自動車メーカーの提供する安全が確保出来ない場合があります。

その様な場合に必要な、安全に対する配慮と判断は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂くてはなりません。

お客様の車と弊社の製品を、安全にかつ快適にお使い頂く為にも、製品を取り付ける車の取扱説明書を合わせて、よくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

もくじ

はじめに	P 1
お客様と製品とのかかわり合い 必ずお読み下さい	P 1
もくじ	P 2
1. 安全・取り扱いに関するご注意 必ずお読み下さい	P 3～9
2. 本製品の特徴	P 10
3. パーツリスト	P 11～12
4. 取り付け方法	P 13～23
配線・配管全体図	P 14
①配管方法	P 15～17
①-1 センサーの取り付け	P 15～16
①-2 センサーホルダーの取り付け	P 17
②接続方法	P 18～20
②-1 各部の名称(データリンクユニット)	P 18
②-2 配線方法	P 19
◎ハンダ付けのやり方	P 20
◎エレクトロタップの使い方	P 20
◎ハーネスシールの使い方	P 21
◎ダッシュクリーナーの使い方	P 22
③メーター本体の取り付け方法	P 23～24
④取り付け最終確認項目	P 25
5. 操作方法	P 26～30
①各部の名称(メーター本体)	P 26
②モードの説明	P 27～29
「リアル・モード」・「ピーク・モード」	P 27
「リセット・モード」	P 28
「ワーニング設定・モード」・「ワーニング・モード」	P 29
③チェック機能の説明	P 30
6. トラブルシューティング	P 31
7. アフターケアについて	P 32
8. アフターサービスについて	P 33

1. 安全・取り扱いに関するご注意 必ずお読み下さい



製品を安全にお使い頂くには、正しい取り付けと正しい操作が不可欠です。

この取扱説明書、ならびに、取り付ける車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

又、この取扱説明書に書かれていない取り扱いをされる場合に必要な、安全に対する配慮は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂くこととなります。








この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂く為に、守って頂きたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

 警告	もし、お守り頂かないと、 生命の危機 、又は、 重傷を負う 人身事故につながる恐れのある注意事項です。
 注意	もし、お守り頂かないと、製品だけでなく 自動車や設備の破損・故障 につながる恐れのある注意事項です。
お願い	製品を正しくお使い頂く為に、 必ず守って頂きたい 注意事項です。
重要	製品を正しくお使い頂く為に、 知っておいて頂きたい 注意事項です。

1. 安全・取り扱いに関するご注意 必ずお読み下さい

 警告

-  取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理して下さい。自動車は、誤った扱い方をすると、**思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。**
-  必ず自動車の下に燃えやすい物が無いことを確認してから、停車、駐車して下さい。自動車の排気部分は高温になり、エンジンを動かしたまま枯れ草等の燃えやすい物の上に停車や駐車をすると、**火災の危険があります。**
-  必要なとき以外は、必ずエンジンを停止して下さい。マフラーのテールパイプからは、有毒な成分が含まれた排気ガスが排出され、締め切った車庫や倉庫の中等でエンジンを動かし続けると、**一酸化炭素中毒の危険があります。**やむを得ずエンジンを動かす時は、屋外、又は窓を開け換気扇等を回し、**新鮮な外気を取り入れられる場所で作業して下さい。**
-  車の中で休憩や仮眠をとる時は、必ずエンジンを停止して下さい。エンジンが動いたまま停車、又は駐車して、休憩や仮眠をとると、**排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性があります。**
-  本製品の取り付け・配管作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。**専門外の方が作業されると、ケガや火傷の可能性があり危険です。**
-  燃料漏れ、燃料ラインの劣化等、作業を行った箇所は走行前に必ず点検して下さい。**燃料関係の取り扱いミス、作業ミスは重大な事故を引き起こす可能性があり、大変危険です。**
-  燃料系統の作業・点検等は、周囲に火の気のないことを確認し、屋外、又は窓を開け、換気扇等を回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で、行って下さい。**ガソリンは引火性があり、周囲に火の気があると火災の危険があり大変危険です。**

1. 安全・取り扱いに関するご注意 必ずお読み下さい

⚠ 警告

- ⚠ センサー取り付け作業を行う際は、燃料漏れを起こさないようにシールテープ等を巻き、確実に取り付けて下さい。燃料漏れは、引火、エンジン破損の原因となり、大変危険です。
- ⚠ 走行前には、必ず、パイプやフィッティングに燃料漏れがないか点検して下さい。燃料が漏れたまま走行すると、火災やエンジン破損を引き起こす可能性があり大変危険です。
- ⚠ 取り付け個所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにして下さい。誤った取り付け個所・取り付け方法は、脱落を招き、車両破損の原因や運転の妨げとなり、又、視界の妨げとなる可能性があり、大変危険です。
- ⚠ 運転中は絶対に、メーター本体の操作をしないで下さい。わき見運転は思わぬ人身事故を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ 車両を発進させる時は、必ず周りに何も無い事を確認して下さい。不用意に発進させると、思わぬ人身、物損の事故等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り、正しくお使い下さい。これらの工具は、誤った使い方をすると、ケガ、火傷等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ 作業終了後は必ず、運転席の足下に何も無いことを確認して下さい。運転席の足下に空缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作が出来なくなる等の恐れがあり、大変危険です。

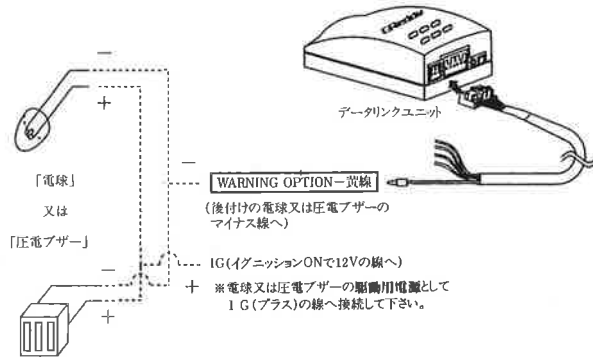
1. 安全・取り扱いに関するご注意 必ずお読み下さい

⚠ 注意

- ⚠ 本製品の取り付けには、車両の内外装、及び電装系の加工、取り外し等の作業が伴います。当社は、これらの作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を進めて下さい。
- ⚠ 配線作業を行う時には、必ずキーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。配線作業中に電流が流れると、ショートする可能性があり、危険です。
- ⚠ くれぐれも、誤配線、ショートはさせないで下さい。本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。
- ⚠ センサーハーネス、メーターハーネスは延長等の加工をしないで下さい。接触不良からショートを引き起こし、本製品だけでなく、取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。
- ⚠ ハンダ付けにて配線を接続した場所は、必ずビニールテープ等を巻き、絶縁して下さい。
- ⚠ センサーは精密部品の為、水のかかりやすい場所、エキゾーストマニホールド付近等の高温になりやすい場所を避けて、設置して下さい。
- ⚠ センサーは必ず、エンジン側取り付け部分より高い位置に、センサーのフレキシブルホース側を下向きに取り付けて下さい。
- ⚠ 本製品は、絶対に分解しないで下さい。ケース破損や故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。
- ⚠ 本製品のセンサーハーネスの取り回しは、点火信号や無線等のノイズの発生しやすい場所には設置しないで下さい。電波等によるノイズは、本製品の誤作動を引き起こす恐れがあります。

注意

- ⚠ 本製品は、メーター本体、データリンクユニットの互換性がありません。必ず、シリアルナンバー(製造番号)が一致していることを確認してから、ご使用下さい。本体誤作動の原因となります。
- ⚠ データリンクユニットは、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や、ヒーターの吹き出し口、又その近くには取り付けないで下さい。
- ⚠ メーター本体は必ず、水平または水平より上向きで取り付けして下さい。水平より下向きに取り付けると、メーターの誤作動や破損の原因となります。
- ⚠ データリンクインターフェース端子には指定のもの以外、差し込まないで下さい。本製品の破損、誤作動の原因となります。
- ⚠ WARNING OPTION端子は、最大負荷14V、3.4W球1個まで、又は、圧電ブザーとの接続が出来ます。



お願い

- バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリー機能を持った時計、オーディオ類、ナビゲーションシステム、及び電動シート等、記憶内容が消去される物があります。作業前に、車両、及び各製品の取扱説明書で確認した上で作業を始めて下さい。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って、設定し直して下さい。
- 本製品は、精密機器の為、落としたり強い衝撃を与えたりしないで下さい。
- 新品をお買い上げの時点で、保証書の製品番号とメーター本体、データリンクユニットの製品番号が異なっている場合は、お手数ですが、お買い上げ店、又は弊社までご連絡下さい。
- 本製品をお買い上げ後、11～12ページのパーツがあることをご確認下さい。
- 両面テープを貼る面は、付属のダッシュクリーナーを使って、ホコリ、汚れ、油分等をよく拭き取って下さい。
- 本製品のお手入れの際は、乾いた布で拭いて下さい。汚れのひどい場合には、少量の水をつけ固く絞った布で拭いて下さい。ベンジン・シンナー類を使用すると、ケースや塗装が変質しますので絶対に使用しないで下さい。
- 本製品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。
For Sale and Use in Japan Only.
- 本製品に関するご不明な点等がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。(住所・電話番号は次ページ記載。最終ページにも記載。)

1. 安全・取り扱いに関するご注意 必ずお読み下さい

— 作業の方へお願い —

- 取り付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお客様に返却して下さい。

— 使用者の方へお願い —

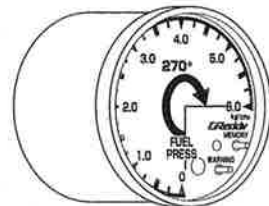
- フューエルプレッシャーメーターを取り付けた車両を、他の人に貸し出し、又は、譲渡する場合は、必ずフューエルプレッシャーメーターが取り付けられることを知らせ、この取扱説明書と保証書も、必ず渡して下さい。

その他、各項目ごとに注意事項を掲載しておりますので、必ずお読み下さい。

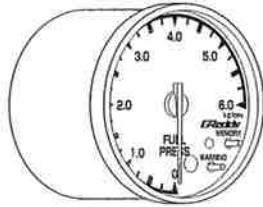
株式会社トラスト 本社
〒289-16 千葉県山武郡芝山町大台3155番5 TEL.0479(77)3000

2. 本製品の特徴

- 本製品は12Vバッテリー搭載の国産車に使用できます。
- 前モデルよりも約15mm薄型、軽量になり、取り付け位置を選ばず、自由なレイアウトが可能。
- メーター表示も、好評なデザインを残しつつシンプルにし、ワイドな270°フルスケールにより見易さUP！
- 同時に目盛りも、1.0kg/cm²で45°、2.0kg/cm²で90°と、より見易さを追求！
- 前モデルよりも大型な高照度L.E.D.を採用している為、視認性が向上。
- もちろん夜間(イルミネーション点灯時)ではL.E.D.が減光し、見易さ抜群の設計。
- さらに充実したワーニング、ピークホールド、メモリーの各種機能を搭載。
- 新たに、誤配線、配線抜け、断線時に、又、短絡(ショート)時にも役立つ「チェック機能」を搭載。
- カラーバリエーションも、シンプルでレーシーなオフ・ブラックと、ゴージャスな美しさで注目度バツグンのパール・ホワイトの2色をご用意。
- 高精度温度センサー採用により、ハイレスポンスと正確さを実現。
- データリンクユニットは、今後発売される製品に、簡単にデータの転送が可能！



3. パーツリスト



メーター本体 1ケ



データリンクユニット 1ケ



プレッシャーセンサー
1ケ



メーターハーネス
2m 1ケ



センサーハーネス
2.5m 1ケ



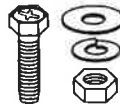
フィッティング
1ケ



電源ハーネス
0.5m 1ケ

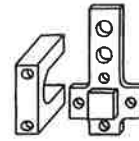


フレキシブルホース
0.5m 1ケ



センサーホルダー取り付け用ネジ
M6ネジセット 1セット

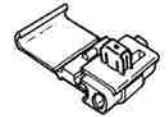
3. パーツリスト



センサーホルダー
1セット



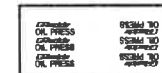
ダッシュクリナー
1ケ



エレクトロタップ
4ケ



タイラップ 15cm 4本



ハーネスシールド
(3枚) 1シート



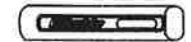
データリンクユニット取り付け用
両面テープ (8枚) 1シート



保証書 1部



取扱説明書(本書) 1部



調整用ソケット 1ケ

【用意して頂く工具】

最低限必要な物と工具	確実に取り付ける際に必要な工具
<ul style="list-style-type: none"> ・テスター(15V以上計れるもの) ・延長用ハーネス ・プライヤー ・ニッパー ・+、-ドライバー ・10mm、12mm、14mmのスパナ又はレンチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホースバンド ・ハンダゴテ、ハンダ ・キリ又はドリル ・布、中性洗剤、水 ・ワニクリップ付きハーネス ・ビニールテープ ・シールテープ

4. 取り付け方法

以下の注意事項をよくお読みになった上で、作業を始めて下さい。

警告

- ⚠ 本製品の取り付け・配管作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。専門外の方が作業されると、ケガや火傷の可能性があり危険です。
- ⚠ 燃料系統の作業・点検等は、周囲に火の気のないことを確認し、屋外、又は窓を開け、換気扇等を回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で、行って下さい。ガソリンは引火性があり、周囲に火の気があると火災の危険があり大変危険です。
- ⚠ 燃料漏れ、燃料ラインの劣化等、作業を行った箇所は走行前に必ず点検して下さい。燃料関係の取り扱いミス、作業ミスは重大な事故を引き起こす可能性があり、大変危険です。
- ⚠ 走行前には、必ず、パイプやフィッティングに燃料漏れがないか点検して下さい。燃料が漏れたまま走行すると、火災やエンジン破損を引き起こす可能性があり大変危険です。

注意

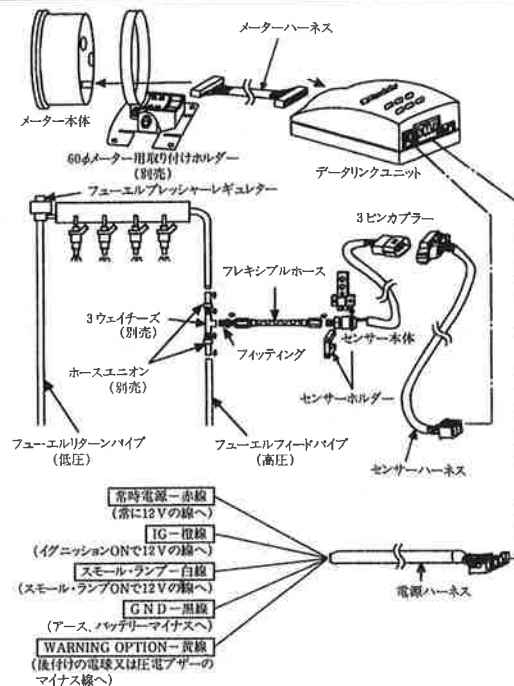
- ⚠ 配線作業を行う時には、必ずキーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。配線作業中に電流が流れると、ショートする可能性があり、危険です。
- ⚠ くれぐれも、誤配線、ショートはさせないで下さい。本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。

4. 取り付け方法

配線・配管全体図

警告

- ⚠ エンジン停止直後は、絶対に作業を行わないで下さい。エンジン停止直後は、エンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があり大変危険です。



4. 取り付け方法

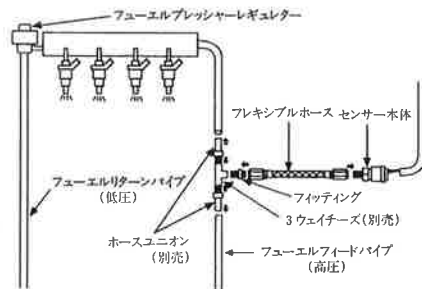
①配管方法

①-1 センサーの取り付け

⚠ 注意

- ⚠ センサーは熱のこもらない場所、及び、水の掛からない場所を選んで取り付けて下さい。センサー破損の原因となります。
- ⚠ センサーやセンサーハーネスは、点火系などのノイズの発生しそうな所を避けて取り付け、配線して下さい。点火系などのノイズはメーター誤作動の原因となります。

以上の条件をクリアした所へ、付属のボルト、ナット、センターホルダーなどを使用して、確実に固定して下さい。

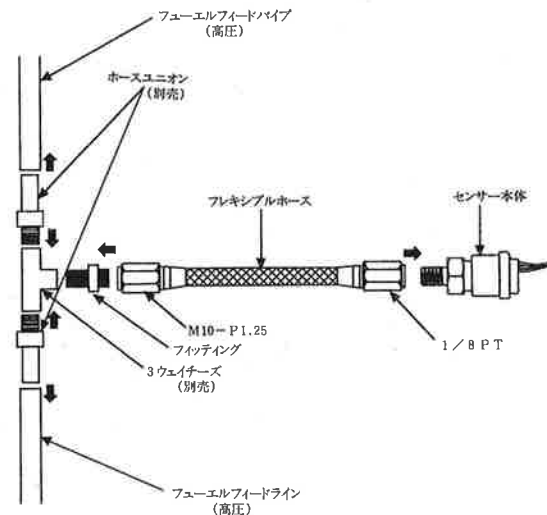


重要

センサーは必ず、フューエルタンクからフューエルプレッシャーレギュレーター間のフィード(高圧)パイプ側へ取り付けて下さい。
※フューエルプレッシャーレギュレーター後のリターン(低圧)パイプ側では、正確な燃圧をとることが、出来ません。

4. 取り付け方法

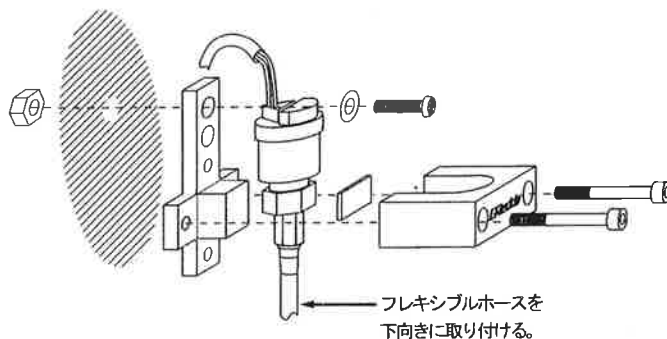
①-1 センサーの取り付け



- ・フレキシブルホース(1/8 PT側)と、センサー本体を接続します。
- ・フレキシブルホースは左右でネジピッチが違います。必ず確認してから取り付けて下さい。(フィッティング側はM10-P1.25、センサー側は1/8PT)
- ・最後にフィッティングとフレキシブルホース(M10-P1.25側)を接続します。
- ・センサーは、付属のステーでボディー等へ確実に固定して下さい。

4. 取り付け方法

①-2 センサーホルダーの取り付け



- ・センサーにフレキシブルホース(1/8PT側)が確実に取り付けられていることを確認して下さい。
 - ・ホルダーステー(十字側)を付属のM6ネジセットを使用し、エンジンルーム内の適切な場所へ確実に固定して下さい。
 - ・センサー六角ナット平面部を、ホルダーステー(十字側)の中心部と面接触させ、ホルダー(U字側)を付属のM4キャップボルトで締め付けます。
- ※センサーを取り付ける際は、必ずフレキシブルホース側(1/8PT側)を下向きにして取り付けして下さい。

4. 取り付け方法

②接続方法

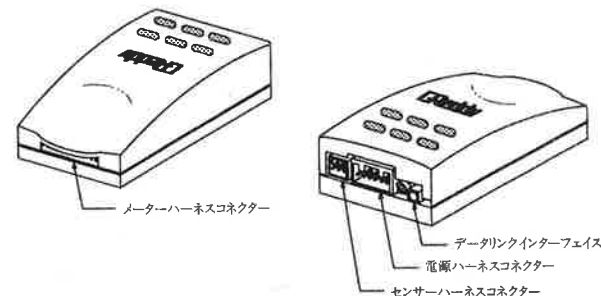
⚠ 警告

⚠ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落や運転の妨げにならないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、**車両破損の原因や運転の妨げになる可能性があり大変危険です。**

⚠ 注意

⚠ 取り付けの際は、運転操作の妨げにならないように、ハーネス類は付属のタイラップ等でまとめ、データリンクユニットは付属の両面テープで確実に固定して下さい。

②-1 各部の名称 (データリンクユニット)



お願い

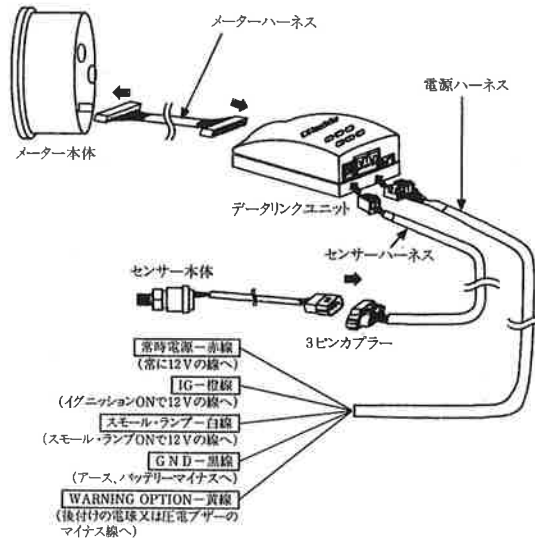
アース線をバッテリーのマイナス端子に配線する場合の延長用配線は、本製品には含まれておりません。お手数ですが、別途お買い求め頂きます様、お願い致します。

4. 取り付け方法

②-2 配線方法

⚠ 注意

- ⚠ 必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行って下さい。
- ⚠ 絶対にショートさせないで下さい。車両の電装系を破損させる恐れがあります。
- ⚠ カプラーを接続する際は、確実に差し込んで下さい。接続不良は誤作動の原因となります。



重要

WARNING OPTIONの使用方法について、7ページを参照して下さい。

4. 取り付け方法

◎ハンダ付けのやり方

① 配線の被覆を剥く。



② 剥いた配線を巻き付ける。



③ ハンダを盛る。
(ハンダがよく浸透したのを確認する。)



④ 絶縁テープをしっかりと巻く。

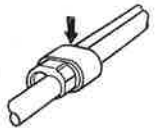
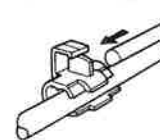


◎エレクトロタップの使い方

①本線をコネクタ側面よりはめ込み、分岐線は横の差し孔よりストッパー位置まで挿入します。

②プライヤーで金属部を完全に押し込みます。

③フック付絶縁カバーを押し、ロックすればOKです。



※注意：金属部・フック付絶縁カバー一体式のエレクトロタップが付属されている場合があります。

お願い

配線する際は、出来るだけハンダ付けで行い、接触不良を起こさない様に確実に配線して下さい。

4. 取り付け方法

◎ハーネスシールの使い方

- これは、メーター 2 個以上お使いの方が、他のメーターのハーネスとを区別する時にお使い下さい。
- ハーネスシールは、1 シートに 3 枚ありますので、メーターハーネス、センサーハーネス、電源ハーネスそれぞれにお使い頂けます。

• 使用例

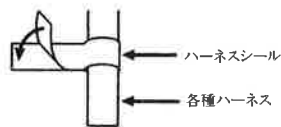


• 使用方法

- ①ハーネスシールを台紙からはがす。
- ②左右の字の中央に貼りたいハーネスを置く。



- ③そのハーネスをはさむ様に、ハーネスシールを 2 つ折りに貼り合わせる。



4. 取り付け方法

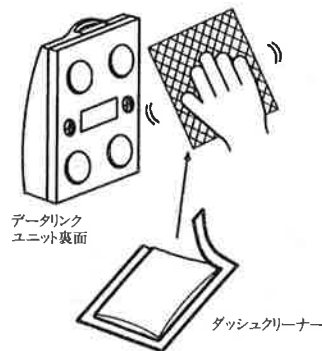
◎ダッシュクリーナーの使い方

- これは、両面テープを使用して、データリンクユニット等を固定する場合(両面テープの接着面)のホコリ、汚れ、油分等の拭き取りにお使い下さい。

▲ 注意

- ▲ ダッシュクリーナーは本製品のみにご使用下さい。他の製品には、使用しないで下さい。
- ▲ 両面テープの接着面にホコリ、汚れ、油分等があると、データリンクユニット等をしっかりと固定出来ません。付属のダッシュクリーナーできれいに拭き取ってから、作業を行って下さい。
- ▲ 取り付け場所(ダッシュボード、コンソールボックス等)への使用は、目立たない場所に変質、変色が無いことを確認してから使用して下さい。

• 使用例



• 使用方法

- ダッシュクリーナー(シルバーの袋)で、データリンクユニット裏面又は、車体側の取り付け場所(両面テープの接着面)のホコリ、汚れ、油分等をきれいに拭き取って下さい。

4. 取り付け方法

③メーター本体の取り付け方法

警告

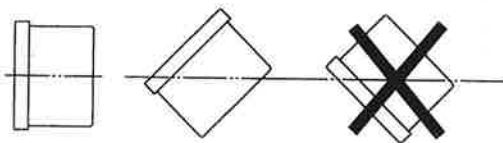
⚠ 万一の時にも安全な取り付け場所、方法も慎重に検討し、絶対に脱落や運転の妨げにならないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、**車両破損の原因や運転の妨げになる可能性があり大変危険です。**

重要

メーター本体取り付けの際は別売のメーター取り付けホルダー、もしくはピラーメーターパネル等を使って取り付けして下さい。

注意

⚠ メーター本体は必ず、水平または水平より上向きで取り付けして下さい。水平より下向きに取り付けるとメーターの誤作動や破損の原因となります。



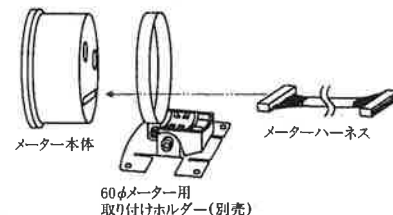
⚠ 取り付けの際は、運転操作の妨げにならないように、ハーネス類は付属のタイラップ等でまとめ、データリンクユニットは付属の両面テープで確実に固定して下さい。

4. 取り付け方法

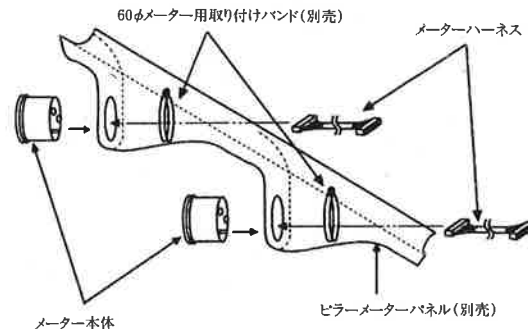
③メーター本体の取り付け方法

メーター用オプションパーツとして下記のパーツが用意されています。詳しくはお買い上げ店、又は、弊社までお問い合わせ下さい。

- ・60φメーター用取り付けホルダーを使用する場合



- ・ピラーメーターパネルを使用する場合



注意

⚠ L.E.D.は、高照度タイプを使用していますが、メーター取り付け位置、目視角度によってはL.E.D.が確認しづらい場合があります。

4. 取り付け方法

④取り付け最終確認項目

最終仕上げとして、以下の項目を必ず確認して下さい。

- 取り付け配管が確実に接続され、配管の差し忘れや燃料漏れがないか確認して下さい。
- 取り付け配線が確実に接続され、配線の差し忘れや誤配線がないか確認して下さい。
- センサー本体やハーネス等が、エンジンルーム内で作動装置(ラジエーターファン、スロットルボディ等)と干渉していないか確認して下さい。
- センサー本体やハーネス等が、点火系装置(1Gコイル、デストリビューター、プラグコード等)を避けて配線されているか確認して下さい。
- メーター本体やハーネス等が、運転の妨げにならないように、確実に固定されているか、もう一度確認して下さい。
- メーター取り付けの際に取り外した、車両側の内装、ハーネス類が元通りに戻されているか、もう一度確認して下さい。

⚠ 警告

⚠ 作業終了後は必ず、運転席の足下に何も無いことを確認して下さい。運転席の足下に空缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作が出来なくなる等の恐れがあり大変危険です。

- バッテリーのマイナス端子を、外れないようにしっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めて下さい。

以上で、すべての取り付け作業は終了です。

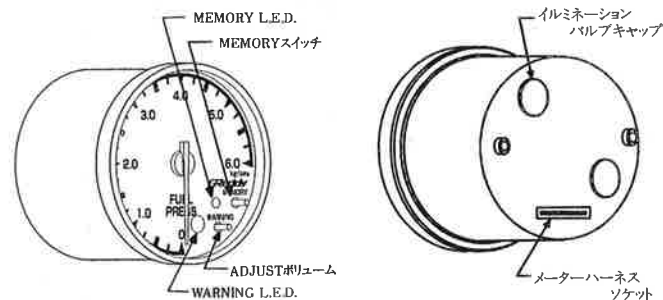
5. 操作方法

次の注意事項をよくお読みの上、理解されてから本製品をご使用下さい。

⚠ 警告

⚠ 運転中は絶対に、メーター本体(スイッチ、ボリューム等)、及びデータリンクユニットの操作をしないで下さい。わき見運転は思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。

①各部の名称 (メーター本体)



●MEMORYスイッチ●

- 「ピーク・モード」に切り替える時に使用します。
- 「リセット・モード」時にメーター内のメモリーをクリアする時に使用します。

●MEMORY L.E.D.●

- 「ピーク・モード」時に点灯します。
- 「リセット・モード」時に点滅します。

●ADJUSTボリューム●

- 「ワーニング設定・モード」に切り替える時に使用します。
- ワーニング値を設定する時に使用します。

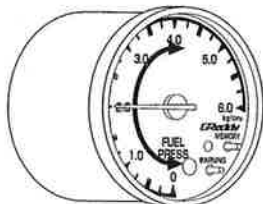
●WARNING L.E.D.●

- 「ワーニング設定・モード」「断線チェック・モード」「短絡(ショート)チェック・モード」時に点滅します。
- 「ワーニング・モード」になった時に点灯します。

5. 操作方法

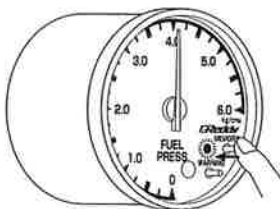
②モードの説明

「リアル・モード」



指針がリアルタイムに燃料圧力を指示します。
同時にピーク値をメーター内のメモリーに記憶します。

「ピーク・モード」



MEMORYスイッチを2秒以内で押すと、MEMORY L.E.D.が点灯し、「ピーク・モード」になります。

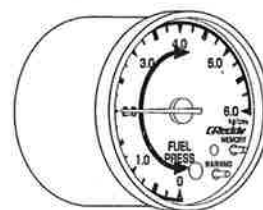
このスイッチがON (MEMORY L.E.D. 点灯)の時は指針が常にピーク値を指示したままになります。

メーター内のメモリーは随時更新されたピーク値を記憶していきます。
(車のキーをOFFにしてもメモリー機能が働き、メモリー内容は残ります。)

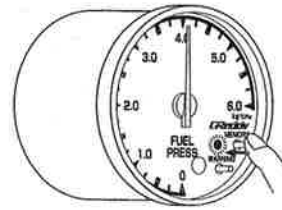
再び、MEMORYスイッチを2秒以内で押すとリアル・モードに戻ります。

5. 操作方法

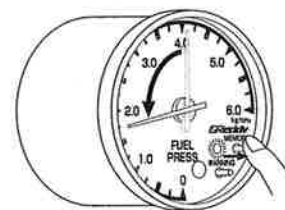
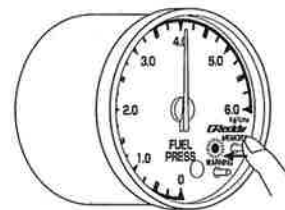
「リセット・モード」



「リアル・モード」



「ピーク・モード」



MEMORYスイッチを2秒以上押し続けるとMEMORY L.E.D.が点灯から点滅に変わります。

これでリセット完了です。

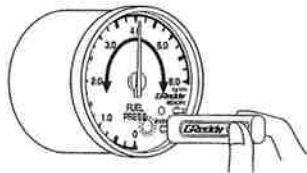
あとは、スイッチから手を放せば「リアル・モード」に戻ります。

※リセットは、リアルモード、ピークモードのどちらの状態からでも出来ます。

5. 操作方法

「ワーニング設定・モード」

設定は、調整用ソケットを使ってADJUSTボリュームを右、又は左へ少し回しますと、**WARNING L.E.D.**が点滅し、ワーニング設定モードになります。

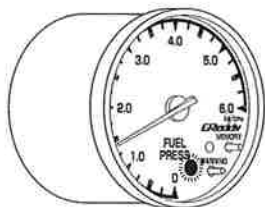


あとはボリューム操作に連動して右回しで上昇、左回しで下降し、ワーニング値を設定します。

設定値に合わせた後、ADJUSTボリュームを5秒以上操作しなければ、**WARNING L.E.D.**が消灯し設定終了となり、リアルモードに戻ります。

「ワーニング・モード」

ワーニング設定モード時に設定した値以下になると**WARNING L.E.D.**が点灯します。



設定値から指針が上がると、**L.E.D.**は消灯します。

⚠ 注意

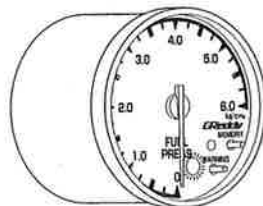
- ⚠ 走行中の設定は非常に危険です。車が停止している状態で設定して下さい。
- ⚠ 調整用ソケットはワーニング値設定時のみ使用して下さい。ボリュームに差したままにすると、ボリュームを破損させる恐れがあります。

5. 操作方法

③チェック機能の説明

「断線チェック機能」

この機能は、センサー及びセンサーハーネスの断線、配線抜け、誤配線があった場合に知らせる機能です。

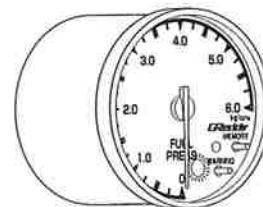


指針は真下を示し、**WARNING L.E.D.**が2連続等間隔点滅(ピカピカッ…ピカピカッ…)します。

※電源ハーネスの配線上では、機能しません。

「短絡(ショート)チェック機能」

この機能は、センサー及びセンサーハーネス上のどこかで短絡(ショート)があった場合に知らせる機能です。



指針は真下を示し、**WARNING L.E.D.**が等間隔点滅(ピカッ…ピカッ…ピカッ…ピカッ…)します。

※電源ハーネスの配線上では、機能しません。

6. 故障かな?と思ったら…(トラブルシューティング)

以下の表を参考に、もう一度、確認して下さい。

症 状	考えられる原因	対 処 方 法
①燃料圧力が、全体的に低く表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ・メーター本体が水平より下向きに取り付けられている。 ・アースがバッテリーのマイナス端子に確実に取り付けられていない。 ・配線を誤って取り付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メーター本体を水平、又は水平より上向きに取り付け直して下さい。 ・電源ハーネスのアース線を延長加工して、バッテリーのマイナス端子に確実に取り付けして下さい。 ・19～20ページを参照して、配線をやり直して下さい。
③ワーニング設定値とは異なった値で、ワーニングL.E.D.が点灯する。 ④針が異常な値を示す。	<ul style="list-style-type: none"> ・各ハーネス類が点火信号、無線等のノイズを拾っている。 ・メーター本体、データリンクユニットのそれぞれのシリアルナンバー(製造番号)が異なっまま、使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノイズ等が発生しやすい場所を避けて、センサーハーネスを引き直して下さい。 ・シリアルナンバーが異なっている時は、お買い上げ店、又は、弊社までご連絡下さい。
⑤ワーニングL.E.D.が点滅する。(等間隔点滅ーピカッ、ピカッ、ピカッ、ピカッ、ピカッ、)	<ul style="list-style-type: none"> ・配線がどこかで短絡(ショート)している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配線がボディなどに接触していないか確認して下さい。
⑥ワーニングL.E.D.が点滅する。(2連続等間隔点滅ーピカピカッ、ーピカピカッ、ー)	<ul style="list-style-type: none"> ・配線が外れているか、断線している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カプラーが外れたり配線が断線していないか確認して下さい。

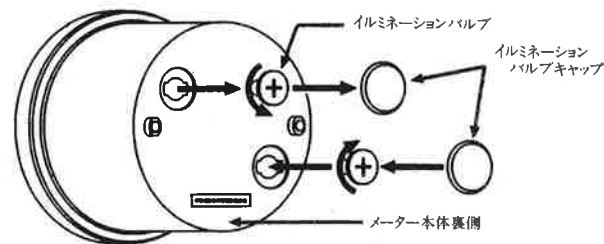
7. アフターケアについて

◎イルミネーションバルブの交換方法

- ・メーターのイルミネーションバルブが切れた場合は、メーター用オプションパーツのイルミネーションバルブと交換して下さい。

『取り外し方』

- ①バッテリーのマイナス端子を取り外して下さい。
- ②メーター本体を車両より取り外して下さい。
- ③メーター本体裏側のイルミネーションバルブキャップを取り外します。
注意) このキャップは再使用しますので、破損等しないように丁寧に取り扱って下さい。
- ④マイナスドライバーを使用し、イルミネーションバルブを45°左回しで、丁寧に取り外して下さい。
注意) この時、バルブのロックやメーター本体の基板等を傷つけないよう、丁寧に作業を行って下さい。



『取り付け方』

- ・取り外し方と逆の手順で丁寧に作業を行って下さい。
- 注意) バルブ交換後、メーター本体の短絡(ショート)、異物の混入を防ぐ為にイルミネーションバルブキャップは、必ず取り付けて下さい。**

8. アフターサービスについて

- ◆本製品について、何かご不明な点がございましたら、弊社までご連絡下さい。
- ◆付属されている保証書は、大切に保管して下さい。
- ◆新品をお買い上げの時点で、保証書の製造番号と、メーター本体、データリンクユニットの製造番号が異なる場合は、お手数ですが、お買い上げ店、又は、弊社までご連絡下さい。
- ◆万一、ご購入年月日より1年以内に、当社の責任と認められる故障を生じた場合は、保証書と合わせて製品を提示下されば、無償修理を致します。
- ◆保証期間経過後の修理、又、お客様の不注意により、修理が必要になった場合でも、お気軽に弊社までご連絡下さい。

メーター用オプションパーツ

60φメーター用取り付けホルダー
センサー延長ハーネス(2m)
イルミネーションバルブ(電球)
ピラーメーターパネル
60φメーター用取り付けバンド
ホースユニオン(2ヶ)
3ウェイチーズ

株式会社トラスト 本社
〒289-16 千葉県山武郡芝山町大台3155番5 TEL.0479(77)3000